

もいのにぎわい通信

2024年 2月 24日 定例活動報告

日時：2024年2月24日（土）9：00～16：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 6～10℃ 湿度 59% 風向 東北東 風速 2.7m/s

参加者：24人：子ども1人、大人23人（内土地改良区3人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:00 後片づけ・午前の部解散

13:00 井戸掘り作業他

16:30 片付け・解散

■活動報告

菜種梅雨という言葉が出てくるほど雨が続く気候となっていますが、今日24日だけは晴れるそうで明日もまた雨だそうです。ラッキーですね。

ようやく晴れたので土地改良区の皆様には間伐材や枝打ちの残材が溜まっていたものを焼却する作業を担当してもらいました。風が強すぎても怖くてできないですし、そのうち温かくなってくると暑くてできないなんてことにもなりかねません。残材が池の周辺に溜まっていると邪魔ですし、松くい虫発生の原因にもなりかねません。晴れて強風でないという気象条件と改良区から野焼きになれた人手があるという条件がそろって本当に良かったです。井戸を掘っているチームは水に濡れるので凍えた体や手を温めるのにも火があると助かります。

他の人たちは刈払機の作業と寒肥を施すチームに分かれました。刈払機は岡本さん・片岡さん・金子さんです。葉っぱが落ちて見えやすい状態になっているのはいつもの冬場ですが、今年はパソナさんとトレミールさんが手伝ってくれたおかげなのでしょう。クズの蔓の除去がすすんでいて結構きれいです。3人の方も中央部から、いつも刈払機の入らない周辺部の方に作業を上げていました。

寒肥のチームはというと、キウイに関さんご夫妻と和田さんが担当し、さらに枝の刈込を行い整えてくれました。2024年もきつといっぱい実がなってくれると思います。カキの樹には佐々木さんと須山さんが付いてくれて3本のカキにたっぷり施肥してくれました。順番なら2024年はカキの当たり年です。お二人には堆肥場後ろのイチジクにもやってもらえたようです。高校生の2人組、野田君・小林君は星野さんと組になってビワの施肥を担当してくれました。大きくなってキリの樹と邪魔しあうようになったビワの苗木を掘り起こして移設する作業も手伝ってもらいました。

また、県立安房高校の生物部の生徒さん7名が安齋先生とその長男（小学生）もつれてきて井戸掘り作業に入りました。固い地層に阻まれて思うようにいきませんが、今日は2m程度は掘れたようです。一時はまた抜けないといって騒然となり心配しましたが、短管パイプの足場とチェンブロックのおかげで引き抜くことができ事なきを得ました。今は7、8mの深さ、期待しすぎてもいけません

が期待は高まります。是非ポンプで水を汲みだすのをやってみたいものです。先日いただけることになった久光製薬さんのご寄付も天啓前触れみたいなものでしょう。

なお、大動脈解離リハビリ中の金井は写真撮影とクズの蔓きりに専念しました。1本きれいにするのがずいぶん時間がかかり、それなりに満足感があるもののみだまだ残っているなーと思ってしまうのですが、今年は蔓がわりとよく除去されているなと思いました。病気やケガの人が増えてリハビリ中です。足を骨折の星野さん、腰を痛めた峰島さん、結石に始まり頸椎を痛めている宮原さん、金井自身も含めて暖かくなったら復帰できるように祈っています。

皆さんお疲れ様でした。

(記録：金井 章男)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、3月23日(土)(雨天の場合3月24日(日))除草作業、苗木の枝の剪定、井戸掘り作業を行う予定です。尚、コロナ禍の為、井戸掘り以外は活動時間を午前9時～12時までとします。



集合写真



バーナーによる間伐材、枝打ちの残材の焼却作業



寒肥作業 キウイ



寒肥作業 ビワ



寒肥作業 カキ



刈払機による除草作業



キウイの枝剪定作業



井戸掘作業



